

平成 21 年 7 月 22 日 15 : 00

野菜需給協議会幹事会の概要

独立行政法人農畜産業振興機構

平成 21 年 7 月 21 日に独立法人農畜産業振興機構（東京都港区）において野菜需給協議会幹事会が開催されました。その概要は下記のとおりです。

記

・最近の夏野菜の需給・価格動向について、各産地での順調な生育により潤沢な入荷がある中、需要が伸びていないことから、価格が低迷しており、産地での自主的な出荷調整などが行われてきたにもかかわらず、価格は依然として平均価格を下回っていることが事務局より報告された。

・生産出荷団体より、葉菜類を中心とする当面の消費拡大活動について報告される一方で、これらについては今後も順調な出荷が予想されることから、厳しい状況が予想される旨説明があった。

・このような状況に対応して、野菜需給協議会会員は、今後ともそれぞれの特色を活かし、野菜の需給の周知や新しいメニュー（蒸し野菜など）の工夫・優れた機能のPRなど一層の消費拡大活動を強化していくこととされた。（別紙参照）

（参考）当日の配布資料はホームページで公表します。

（問い合わせ先）

担当者：（独）農畜産業振興機構
野菜需給部 需給推進課
山内、細川、小林
電話番号：03-3583-9478

野菜の消費拡大活動の推進について

平成 21 年 7 月 21 日

野菜需給協議会

- 1 最近の夏野菜の卸売価格は、各産地の順調な生育により、豊作傾向で生産過剰となっている一方、需要が伸びていないことから、全体的に平均価格を下回っております。
- 2 産地側では、自主的な出荷調整等の努力を行っていますが、はくさいなど、品目によっては出荷すればするほど赤字になるという極めて厳しい状況におかれております。
- 3 このような状況を踏まえ、野菜需給協議会の構成会員は、それぞれの特色を活かし、野菜の需給の周知や新しいメニュー（蒸し野菜など）の工夫・優れた機能のPRなどにより、全国的に梅雨が明けつつあるこの時期、野菜を食べて暑さに負けない体作りを目ざし、野菜の消費拡大活動を更に強力に推進することとします。